

令和5年度 第3回 政策調整会議 会議録②

-
- ◆開催日時：令和5年8月23日（水） 10：28～11：00
 - ◆開催場所：第2委員会室
 - ◆出席委員：堤副市長、波積副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、寺本財務部長
船橋魅力創造部長
 - ◆説明者：井上観光課長、頓花公共建築マネジメント課建築担当特命参事（観光課兼務）、
有留観光振興担当主幹、瀬尾郷土文化課郷土史担当長（観光課兼務）、竹川主任
-

◆審議事項

岸和田城天守閣耐震対策基本計画について・・・・・・・・・・・・・・・・魅力創造部観光課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉岸和田城は市のシンボルとなっており、積極的に活用していく必要がある。市民からも愛されており、岸和田市101年目のスタートの年にふさわしい事業である。現在行っている企画展「たいむとりっぷ！藩士の日常」は、内容も興味深く、市民だけでなく外国人の来訪者もいて賑わっていた。これからインバウンドも益々増えてくるので、天守閣や櫓等は城泊であるとか、新たな活用の方法を考えていかなければならない。石垣も傷んでおり、石垣の保存や修復、活用についても今後の課題として考えていく必要がある。

財源についても様々な課題も出てくるだろうが、対応をよろしく願いたい。

〈波積副市長〉岸和田市は観光資源がたくさんあるが、それぞれがつながっていない。岸和田城の天守閣の耐震工事自体も非常によいのだが、部分最適のみを追い求めて全体像を描けていないことが課題である。こういった工事をするのであれば、例えばガイドがいなくても分かるような表記等、外国人への対応も必要と考える。

高齢者のためのバリアフリー化も必要である一方、100年の計がないとも思う。現時点では細かい改修で良いが、100年後にはかつての岸和田城を復活させることを念頭に置いてもらいたい。観光だけでなく産業振興を含め、岸和田市一体となったものを長期的に検討されたい。

〈教育長〉展示構想では、現在1か所で展示されているものが分散されることになり、不便になる。管理については、文化財の管理・保存が不十分であるが故にカビを生やして問題になったこともある。天守閣の耐震化で展示場所を新たに設けることに際しては、文化財の管理・保存がしっかり行えるようにすべき。

入場料について。どこを対象に取るのか、展示内容や城からの眺望、八陣の庭の景観等を含め、どのくらいの金額が望ましいのか、また、徴収場所をどこにするのか等については、どの場で検討するのか。

- 〈観 光 課 長〉 観光課所管の施設に関しては岸和田城、櫓、観光交流センターがある。展示場所については分散される計画であるため、現在の3館共通券と同じような形がとれないか検討する。また、過去から議論になっている八陣の庭への入場者についてどうするのか、つまり、城の入場者をどこでカウントするのか、天守閣に入った人だけをカウントするのか、庭を見るだけの人もカウントするのかなどについて、今後観光課だけでなく、庁内の関係課と協議する。使用料については条例改正等が必要になるため、その際に改めて諮りたい。
- 〈教 育 長〉 展示構想策定の中で検討するのか。
- 〈観 光 課 長〉 別途検討する。展示構想策定では、展示・収蔵するものの確認、効率よく必要な展示を行うにはどのような方法が望ましいか、また、望ましい展示方法に応じた施設の改修のあり方など展示の考え方を整理していただきたいと考えている。
- 〈財 務 部 長〉 令和11年度施工ということは、令和12年度から完全にリニューアルオープンということで良いか。
- 〈観 光 課 長〉 そのとおり。
- 〈財 務 部 長〉 工事で入れないのは、令和11年度だけか。
- 〈観 光 課 長〉 そのとおり。令和8年度まで現指定管理者の指定期間になっており、そこまでは閉じない。その後の指定管理期間について、施工中は入場をとめなければいけないので、極力短い期間で済むような方法を考えたい。工事施工後は完全に一般開放できるような道筋を示している。
- 〈財 務 部 長〉 指定管理の切り替えの際には仕様書をうまくとりまとめるように。
天守閣の耐震だけでなく、周辺施設の整備についても同時並行で進めていかなければいけないため、先に進められないということはあると思うが、スケジュール上、令和7年度は空白になっているが、展示構想策定が令和6・7年度の2か年度かかるということか。
- 〈観 光 課 長〉 展示構想の策定にどれほどの期間がかかるかは、今後郷土文化課で判断していくことになる。指定管理の期間が令和8年度まで残っているので、そこまでは触れないという前提である。指定管理されている施設を触るのが令和9年度からということになるため、逆算して令和8年度が実施設計としている。展示構想策定が令和6・7年度の2か年度かかるという意味ではない。
- 〈財 務 部 長〉 事業費の計画について、概算で約2～3億円と記載されているが、その中身は。
- 〈観 光 課 長〉 約2～3億円は天守閣耐震補強工事費、バリアフリー化工事費、解体工事費を合計したもの。今回の計画は、城の耐震化とバリアフリー化の基本計画であるため、事業費はそれに限って記載したもの。それ以外の隅櫓や観光交流センター等の展示施設に係る費用については、展示の考え方により施設の改修の方法が変わるので、構想次第で費用が決まってくる。
- 〈財 務 部 長〉 確かにその部分だけ捉えると約2～3億円なので間違いではないが、誤解を生む恐れがある。書き方に工夫をお願いする。
- 〈観 光 課 長〉 計画本文の中で検討する。
- 〈財 務 部 長〉 外壁は綺麗になるのか。
- 〈観 光 課 長〉 外壁には手を付けない。
- 〈財 務 部 長〉 リニューアルといっても、エレベーターの設置や耐震強化等は外から城を見たときに

わからない。外壁が綺麗になれば見た目にもわかりやすいのではないか。

〈教 育 長〉名勝である八陣の庭の一体となった景観を構成する天守閣であるため、外壁を綺麗にするかそのままにするかを含め、八陣の庭への影響をしっかりと考える必要があり、その点は文化財の部局で管理している。

〈郷土史担当長〉黒カビといった２次的な汚れを取るなど、城の価値を高める清掃や補修であれば文化庁と特に協議する必要はない。例えば、外壁を塗り替えることによって日光の反射が変わるなど、景観が変わることに対して文化庁はこだわるので、協議の必要性はどれほど景観に影響を及ぼすかによる。

〈財 務 部 長〉周辺の施設の整備費については別途ということで、詳細はわからないとのことだが、財務部長の立場から言うと、あまりに大きな財源を投入することは難しい。ただ、中途半端な整備をして中途半端な結果に終わるのももったいないので、うまく落としどころを探りながら、耐震改修をどのレベルに持っていくのか検討されたい。

〈総 務 部 長〉利害関係者ということで指定管理者の話が出ているが、現在城の利活用でウェディングを実施しており、その事業者も利害関係者に絡んでくる。エレベーターが天守閣に設置されると、ウェディングとしての活用は継続できるのか。

〈観光課主任〉ウェディングの活用は継続できると考えている。エレベーターが真ん中の壁際に来るので、ここから新郎新婦が入場できるのではないかというお話もいただいております。今と同じようにウェディング事業は継続できる。

〈総 務 部 長〉ウェディング事業者に天守閣の利用を売りとして投げかけている部分でもあるので、そのあたりの調整も忘れずをお願いしたい。

クラウドファンディングについては、目標額が集まっていないケースもある。「天守閣は市民の誇りであり、今も市のシンボルとして存在している（市民の愛着と誇りとしての価値）」と記載いただいているとおり、岸和田高校の生徒が昼休みに遊ぶなど、青春の思い出になっている人もいます。現在は岸和田市を離れている人もいますので、同窓会報等にクラウドファンディングの案内を掲載すれば懐かしく思い出していただき、寄附につなげられるのではないかと。そのようなことも検討されたい。

〈総合政策部長〉岸和田城は４年前に「一度は行きたい名城・絶景」という本に「水鏡の名城」として紹介されている。八陣の庭は名勝であり、その景観を変えることは非常に問題となるため、スロープなどは裏側に設置することとしている。しかし「水鏡の名城」として紹介されているのは五風荘側から撮った写真である。バリアフリー化にあたり、全く外から見えないようにするのは難しいかもしれないが、裏側からの景観も楽しめるよう、極力見えないように工夫を凝らすこともお願いしたい。

各地の城を訪れると、ただの展望台のところも多い。本市には貴重な文化財も多いので、天守閣の耐震化と併せて隅櫓や交流センターの展示も充実されたい。現在の状態では防犯や温度・湿度の管理の条件が整わず、他自治体等から文化財を借りられないということもあった。この機会に、展示ケースを防犯対策や温度・湿度の管理など充実させ、岸和田の文化や歴史を展示品の面からも楽しめる城にされたい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよい。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和5年 8 月 7 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 魅力創造部長 船橋 恵子

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田城天守閣耐震対策基本計画について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和3年度に設置した、岸和田城天守閣耐震対策検討委員会において審議し策定した「岸和田城天守閣耐震対策基本計画(案)」について、市の方針として承認を得たいため。
説明者	観光課 課長 井上
	観光課 特命参事 頓花(公共建築マネジメント課兼務)
	観光課 観光振興担当主幹 有留
	観光課 担当長 瀬尾(郷土文化課兼務)
	観光課 観光振興担当 竹川
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和5年度 第4回会議
付議事項	岸和田城天守閣耐震対策基本計画について

★取組の目的

対象	市民及び観光客
どのような状態を目指す	岸和田城は市のシンボルとして市民からも認知されており、本市では今後も市の発展に寄与する施設として後世に残していくべきであると考え、ため本計画を策定し、引き続き市民から愛される岸和田城を適切に保存できる状態を目指す。

★総合計画上の位置付け

5020101	基本目標	にぎわいと活力を創造するまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	観光資源が活かされている
	個別目標の方向性	① 関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくり
	行政の役割	観光施設の管理・運営など、観光客の受け入れ体制を整える

★現状と課題

令和元年度に実施した耐震診断の結果、岸和田城天守閣は震度6強以上の大地震時、倒壊または崩落の危険が高い結果となったことを受け、令和3年度より岸和田城天守閣耐震対策検討委員会を設置し、岸和田城天守閣耐震対策基本計画を策定するための審議を2か年かけて実施している。本計画において、岸和田城天守閣耐震対策に合わせて、バリアフリー化の手法についても検討を実施し、耐震対策としては、現状の天守閣をRC造壁ノンアンカー接着工法を中心とした方法で耐震補強することで保存していくこと、バリアフリー化として施設内にエレベーターを設置すること、施設内に入るために新たな階段と階段昇降機を設置することを検討している。また、耐震補強とバリアフリー化により、現状の天守閣が持つ資料展示・収蔵機能が継続できなくなるため、多聞櫓・隅櫓と観光交流センターの一部に同機能を移転させる方向で検討している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R11年度
委員会運営費用		252	189	292					
計画策定委託料		1,000		3,000					
地質調査委託(4,609千円)及び工法比較表委託(4,999千円)			9,608						
委託料(天守閣リニューアル構想策定484千円、耐震補強及びバリアフリー化工事設計28,096千円)					484			28,096	
天守閣耐震補強及びバリアフリー化工事(R11年度を見込む)									272,420
天守閣展示空調等改修費(R11年度を見込む)									128,066
財源内訳	国費		2,304						
	府費								
	起債							28,000	245,700
	一般財源	1,252	7,493	3,292	484			96	154,786
	その他				寄附等	寄附等	寄附等	寄附等	寄附等
事業費		計			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R11年度
		429,066			484	0	0	28,096	400,486

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R11年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名		単位	目標値							
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R11年度
①	岸和田城入場者数	人	25392	46433	50000	50000	50000	50000	50000	55000
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。